

地域計画の策定に向け参考となる事例

「6つの安心」で新規就農者を確保・育成し、地域の活性化を目指す

大江町就農研修生受入協議会（OSINの会）

認定農業者等数(R5)	21経営体	移住者数(家族込み)(R5)	60人	あっせん農地面積	28ha	主な農産物	スモモ野菜等
-------------	-------	----------------	-----	----------	------	-------	--------

地域の課題

農業者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加等により、地域の農業者だけでは、農地を維持することが困難であり、さらに新品種の導入への余力もなかった。

このため、初心者でも栽培が容易で、かつ早期に所得が得られるスモモを核として、新規就農者を県内外から呼び込む受入れ組織を平成25年4月に賛同した農家等とともに「大江町就農研修生受入協議会（OSINの会）」を設立し、産地拡大及び新規就農者の育成に取り組むこととした。



取組概要

- OSINの会では、就農希望者を受入農家と個人間の調整ではなく、組織として受入れ、また研修する作物も限定せず、希望する作物毎に複数の受入農家で研修できるよう体制を整備している。
- 受入に当たっては、安心して研修できるよう単身者には住宅を無償で支援し、家族向けには町で整備した住宅などの支援を実施している。

また、共同利用できる作業所や農業用機械も低額で利用できるよう支援し、初期投資の負担軽減も図っている。

さらに土地の情報も「OSINの会」で集約し、円滑な農地の引継ぎを行い、独立後も新品種の導入や栽培方法の統一化により栽培技術をサポートし、通年を通して収益が確保できるよう取り組んでいる。



取組体制

OSINの会を中心に、町、JA、県などの関係機関と連携

OSINの会（令和5年1月）

受入農家	10名
研修生	6名
独立就農者	17名
賛助会員	6名

※事務局は、就農した者が担当。

- 年数回、東京で開催される「新・農業人フェア」に参加し新規就農者の確保に取り組んでいる。
- 町補助金を活用し、H28～31に乗用草刈機等の共同利用農機具を整備。



取組の結果及び今後の計画

- 平成25年4月の設立から、約28haを独立就農した者に農地を引き継ぎ農地の荒廃化を防ぐとともに、これまで家族を含めると約60人が移住してきており、産地拡大や地域の活性化につながっている。
- 今後も、農地が荒廃化しないよう関係機関と連携し、農地の情報の共有化を図り、「6つの安心」で就農希望者の夢の実現に向けたサポートを展開することとしている。

「6つの安心」

- ①高収益、②組織力指導力、③住まい
- ④施設、⑤農地、⑥農機具

